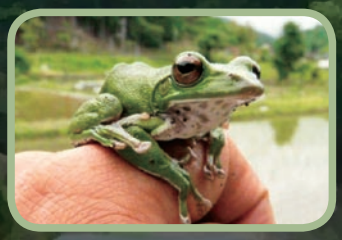
平成22年度林野庁補助事業「山村再生総合対策事業（山村再生プロジェクト）」

応募期間
平成22年
6/1（火）
～
7/2（金）

未来を拓く、
山村ビジネス
募集します



山や里の恵みを分かち合う

山村地域には、森林をはじめ、各種の産物、風景、文化伝統など、様々な魅力（資源）が存在しています。山村地域とは従来、このような山や里の恵みを受け、生計を築いてきた社会でした。しかしながら、現在では経済活動の停滞や過疎高齢化にともなって、資源の劣化や社会経済機能の衰退などが懸念される状況となっています。
そこで、山村の資源を活用した事業（ビジネス）づくりを通じて、山村地域の活性化や、山村地域の未来を拓こうとする取組（山村再生プラン）を広く公募・選定し、取組に必要となる経費の助成やスキルアップ・ネットワークづくりの支援を行います。

募集する取組

3つのタイプの取組を募集します。

❶ **森林・地域資源を活用した新たな商品化・事業（ビジネス）化の取組**

❷ **森林・山村体験活動等の事業（ビジネス）化の取組**

❸ **その他**（❶と❷を組み合わせた複合的な取組等）

※様々な主体と協働・連携しながら、山村地域の活性化に貢献する取組を行おうとされる方々から、社会性やモデル性の高い取組の応募を求めています。

応募者の要件

NPO、任意団体、企業、第三セクター、森林組合・JA等の協同組合、地方公共団体等の組織

※個人での応募はできません。
※山村資源を活用した新たな事業づくり（コミュニティビジネスも含む）を通じて、山村地域の活性化に貢献する取組を行おうとする組織が助成・支援の対象となります。必ずしも、取組の対象となる山村地域に居住している（事業所を設けている）必要はありません。

スケジュール

応募締切	平成22年7月2日（金）
▼ 審査・選定	第三者委員会で実施
▼ 助成金交付申請・交付決定	平成22年7月～8月
▼ 取組実施	原則 平成23年3月10日（木）まで
▼ 実績報告	平成23年以降も5年間、実績報告を行っていただきます。

支援内容

（1）取組に必要となる経費の助成

ア「計画 Plan」（助成率：定額　上限200万円）
　山村資源の発掘、ニーズ調査、プランづくり等。
イ「試行 Do」（助成率：50%以内）
　試作品の作成、ガイドブック作成、事業実施に必要な施設改修等。
ウ「評価 Check」（助成率：50%以内）
　品質・性能評価、事業運営評価等。

※ア～ウの助成については、一事業当たりの助成額の下限規定は設けていませんが、事業効果等を考慮し、100万円程度（「計画 Plan」のみの実施の場合は50万円程度）を想定しています。

（2）専門家による技術的助言・指導

森林資源の活用等、山村地域の活性化に関する技術やノウハウ等を有する専門家等を、取組内容に応じて派遣（費用負担はありません）。

（3）その他

現地研修、取組内容や成果の情報発信、先進・優良活動事例の表彰等。

▼ 募集要領・応募申請書の入手はこちらから

株式会社アミタ持続可能経済研究所　ウェブサイト
http://www.aise.jp/sanson_saisei/

お問い合わせ
株式会社アミタ持続可能経済研究所　京都オフィス　山村再生プロジェクト担当
〒602-8024 京都市上京区大門町253番地
TEL：075-255-4526　FAX：075-255-4527
E-mail：sanson_saisei@aise.jp

過年度に選定された取組
（抜粋）

「事業名称」
事業実施主体（事業実施箇所）／年度

森林・地域資源を活用した新たな商品化・事業（ビジネス）化の取組

「環境にやさしいガーデニング用枕木、木製配水管の開発事業」
下川町森林組合（北海道下川町）／平成20年度

木炭生産の過程で生じる木酢液や煙を有効に活用し、防腐・防蟻性能を付与した「環境にやさしい枕木」の発想から、試作品を製作。平成21年度より販売開始。

「駆除するだけではもったいない！シカ肉の流通促進事業」
朽木猟友会（滋賀県高島市）／平成20年度

駆除して埋土処分されていたシカの肉をヘルシーな食材（ジビエ肉）として商品化。高級食材「朽木ゴールドもみじ」としてブランド化し、地元のホテル等への流通ルートを確立。

「徳島すぎ黒心材活用プロジェクト」
徳島すぎクラブNEXT（徳島県徳島市）／平成21年度

すぎの木の黒心材は、赤心材に比べて腐りにくいなどの事実が経験的に語られていたことから、県や大学と実験を行い、証明された新たな殺蟻成分、抗菌・殺菌作用の特性に着目し、住宅用手すりや便座を開発。

「FSC森林認証林によるカーボン・オフセットの家づくり推進事業」
諸塚村森林認証研究会（宮崎県諸塚村）／平成21年度

家づくりにおけるCO_2排出量、森林への再造林によるCO_2固定量のシミュレーション、森林づくりと家づくりがつながるオフセット算式のマニュアル化等を実施し、「カーボン・オフセット住宅」として推進。

森林・山村体験活動等の事業（ビジネス）化の取組

「都市交流と協働の里山再生事業」
川場村（群馬県川場村）／平成20年度

都市住民との協働のもと、整備計画エリア(105ha)を設定。動植物の生態植生調査および古道調査、新たな体験活動プログラムの開発と情報発信を実施。

「『森の町内会ー間伐に寄与する紙ー』を通じた企業と森の間伐促進の新たな取組」
環境NPOオフィス町内会（東京都港区）／平成20年度

企業が従来の紙代より10%程度割高となる「間伐に寄与する紙」を購入・使用することで、パートナーとなった山村（岩手県岩泉町ほか）における間伐費用の一部を負担し、間伐を促進。

「『木の駅』プロジェクト」
特定非営利活動法人　夕立山森林塾（岐阜県恵那市）／平成21年度

零細小規模林家による林地残材収集・出荷を支援する仕組みを確立。間伐を促進させるとともに、地域通貨券の発行・流通を通して、商店・都市住民とも協働を実施。

「山村資源を活かす森のようちえん事業」
智頭町森のようちえん　まるたんぼう（鳥取県智頭町）／平成21年度

智頭の自然環境を学舎とする「森のようちえん」の持続的な運営体制や手法の確立を目指すとともに、地域の眠れる資源（森へのアクセスポイントや廃園となった園舎、人材）を子どもたちの“育ちの場”に活用。

注：過年度と本年度では募集する取組の区分が異なります。そのため、本年度の募集区分に従って再分類をしています。